

第5分科会 乳幼児保育を学ぶ

ねらい 乳幼児保育現場の視察と講話を通して、乳幼児期の発達や学びの連続性を踏まえた保育について学びを深める。

講師 東京学芸大学 教授 岩立京子様

施設見学 会場 学校法人本願寺萩学園 認定こども園萩幼稚園

園長 河名哲雄



親鸞聖人 700回忌厳修に際し本願寺別院の記念教化事業として、幼稚園経営を計画され、総会所を中心とする園舎において昭和 32 年 4 月 1 日開園。

萩幼稚園設置認可 昭和 32 年 1 月 31 日

認定こども園認可 平成 22 年 4 月 1 日(幼稚園型認定こども園)

認可保育所認可 平成 23 年 4 月 1 日(幼保連携認定こども園)

講話 岩立京子先生 ～乳幼児保育を学ぶ～

幼児教育の今日的課題と今後の方向性

- 幼児教育
- ・生涯にわたる人間形成の基礎を育む役割
 - ・学校教育の始まりとして「生きる力」の基礎を育成する役割
- 幼児教育とは
- ・小学校就学前の幼児に対する家庭・地域社会・幼稚園等施設において行われる教育の総称

幼児教育は重要⇒これまでの取組：量的拡大、教育要領改訂等質的向上

「幼児教育振興プログラム」の推進等

子どもの育ちの変化・基本的生活習慣の欠如・コミュニケーション能力の不足

- ・自制心や規範意識の不足・運動能力の低下・小学校生活への不適応
- ・学びに対する意欲関心の低下等

地域社会の教育力の低下⇒家庭の教育力の低下⇔幼稚園教育等の今日的課題

↓家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者の⇒将来にわたる子どもの健やかな成長への
対応が不十分 危機感

対応の必要⇒家庭・地域社会・幼稚園等施設の三者による総合的な幼児教育の推進

幼児生活の連続性及び勉強や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実

小学校以降の教育との連携・接続⇔幼稚園の教育機能⇒預かり保育等地域社会の教育機能
⇒家庭の教育機能

質の高い乳幼児期の教育・保育

子ども・子育て支援制度認定こども園の推進

1. 幼稚園と同等の4時間程度の教育
2. 保育に欠ける子に対して8時間程度の長時間保育の双方を行う
3. 通園する園児の家庭に限らず地域の子育て家庭を対象に子育て支援事業を行う

保育者による保育プロセスの振り返り

(幼児の豊かな遊びや生活を生み出すための日々の営みの質)

- ・記録、ドキュメンテーション、カンファレンス、学校評価などによる評価
- ・共感的理解、発達の理解
- ・子どもの活動の展開、指導のねらいなどを踏まえた再構成
- ・もの、人、空間、時間、事からなる環境の構成 教材研究
- ・教育課程、指導計画、その時々のご構想



記録の重要性

保育者及び第三者の記録(文字、写真、映像、作品など)から振り返り、子どもの目に見える姿だけでなく、経験を捉え、読み取る。(ある時はねらいに応じて、ある時はねらいにとらわれずに理解する)それを保護者その他の人々とどのように共有できるか
保育における振り返りと、学びの共同体としての園全体の取り組み

質の高い保育は、保育者による自身の保育実践の記録と振り返りによって支えられる
子どもの生き生きとした遊びは、そう簡単には生まれない

保育者の温かな人間性と確かな専門性、学び続ける姿勢のもとに質の高い保育が生まれ、
子どもの生き生きとした姿を支えていく

園の教職員全体が保育の質の向上を目指せるような園運営が重要である

保育における振り返りと実践の質向上のために

保育者の自身の保育のプロセスへの確かな振り返りと、それを支える園という共同体における学び合いのプロセスが、専門性の向上につながっていく。

報告者：学校法人るんびに学園

第二るんびに幼稚園

教 諭 中 村 香
教 諭 岩 田 裕 子